

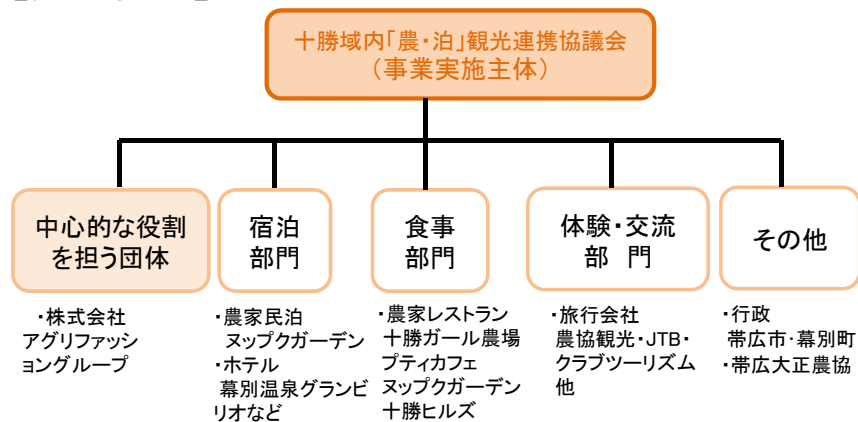
十勝域内「農・泊」観光連携協議会

おびひろし
〔北海道帯広市〕

- 農業王国十勝に「農泊(観光・飲食など)」という新たな産業価値を付加し、地域の産業を活性化する。
- 農業の課題(新規就農・労働力確保・6次化・ブランディングなど)を解決し、成長産業化する。
- 十勝でのインバウンド受入態勢を構築し、海外に十勝をPR、農産品などの輸出拡大につなげる。

北海道帯広市

【実施体制】



- 【採択年度】平成29年度
- 【事業実施期間】平成29～30年度
- (農泊地域高度化推進: 令和元年度実施)

【特徴的な取組】

- 新規就農女性が運営する「十勝ガールズ農場」が観光融合農業を実践(農業・観光・飲食)
- 援農体制の確立(地域連携型雇用・インターン・中国農業学校と連携)
- インバウンド向け観光商材・6次化商品の開発
- 星野リゾートトマムと広域観光連携でインバウンド受入
- JsAgri(JTB)と連携し農産品の輸出開始
- 中国江蘇省に北海道・十勝アンテナショップを開設。日中経済・観光・人材交流事業を開始(中国現地政府と連携)
- 中国上海・江蘇省エリアで観光PR・輸出事業者との連携

【取組内容】

【事例項目】

- 体験プログラムの開発・PR
観光商材:「十勝ガールズ農場」食農体験ツアー(JTB・星野・じゃらんなど) 十勝バスと契約し、「定期観光バス」周遊ルートに
- 援農インターン
(1)首都圏等大学生 (2)地域連携型雇用(3)中国塩城農業学校など
(2)3年間で40名(H28)→1,300名(R1)に増加(十勝ガールズ農場)
(3)教育旅行(修学旅行)の販売開始:契約4校(関西高校)
- モニターツアーの実施状況
中国塩城農業学校より教員団・ツアーエージェント等(100名)・飲食等農業関連視察など
- 宿泊施設数(農家民宿1件登録、新規受入農家数15軒確保)
- 「知って」もらう機会の創出に係る取組内容及び実績
ブランド消費地でのPR、産能大学との連携(自由が丘でのPR)を通して交流人口増加 30名(大学生がインターン参加)、台湾・香港向けWEBサイトでPR、多言語パンフ作成など
海外に観光・農産品をPRするためJsAgri(JTB)と連携、また中国江蘇省に「北海道・十勝アンテナショップ」開設
- 古民家、廃校等の改修実績
旧農協支所を観光拠点として利用・廃校を交流場所として利用など
農福連携事業:知的障害者福祉施設・放課後フリースクールと連携、農作業に従事 サイクルツーリズム・フォトツーリズム関係者と連携、観光商材の更なる磨き上げ



インバウンド対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約